

2024年 6月

12歳までの自己肯定感

の育て方で、その後の人生が決まる

ばなな先生

3月までは小学校の校長をしていました。そのときは365日、目の前の子どもたちに何をしてあげるのがいいのかを常に考えていました。そんなときに、失敗しても前向きにチャレンジしようとする子どもがいる一方、「どうせ僕にはできないから」「大変だからやりたくない」など、何もしないであきらめてしまいせっかく能力があるのに自分の力を伸ばせない子どもたちを目にしました。「これはもったいない。何とかしなければ。」と、全職員で取り組んだのが、子どもたちの自己肯定感の醸成でした。自分のことを好きになりあきらめずにチャレンジする様子が見られた時には、たくさんの感動をおぼえました。とはいうものの、自己肯定感ってどうやって育てたらいいのだろうか。もしかしたら悩んでいる方もいらっしゃるのでは？本書を手に取り参考にしてみてもいかがでしょうか。親子で取り組める事例も紹介しています。もちろんすべての子どもに合うわけでもありませんが、子育てのヒントにしていただけたら幸いです。

